

## index

特  
集

## ● 年頭御あいさつ

## ● 輸血検査の紹介

### トピックス

- 緩和ケアチーム紹介
- 平成23年度災害拠点病院防災訓練
- 「医療福祉相談室」ってどんなところ？

### イベント紹介

- 公開医療福祉講座「知って得する！医療費のしくみと制度のお話」
- ピンクリボン月間イベント「乳がんを美しく生きる」
- 苗植え
- 第40回江南市農業まつり

### お知らせ

- 市民公開講座のお知らせ
- 保険証の確認について
- 面会のご案内
- 編集後記
- 診療日カレンダー

## 病院理念

- 一. 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 一. 私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 一. 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します





新年、明けましておめでとうございます。

昨年は大変な年でした。3月11日に東日本大震災があり、大地震・大津波で東北の沿岸部は多くの人々が亡くなり、かつ、街もガレキの山となり、壊滅的な打撃を受けました。福島第一原発も破壊され、放射能汚染は広範囲におよび、原発周辺の住民は福島県内外に役場もろとも避難させられたままで、いつ故郷に帰れるのか全く見通しも立っていません。農作物の放射能汚染も深刻で、牛肉や米・茶にもおよび、風評被害も加わって、生産者も消費者も困惑しています。さらに、土壌汚染も広範囲におよび、除染すべき基準も変更されたりして、住民は何を信じてよいのかわからず、戸惑っています。

私達は科学と学者を信じ過ぎました。いつ大地震が起きるかの予知は不可能だと皆思っていました。が、何十年以内に何十%の確率でどこにどれだけの規模の大地震が起きるかといった学者の予測は信じていました。それらが一瞬にして裏切られました。大津波により三陸沿岸部はことごとく破壊され、鉄壁の守りと考えられ、その偉容から「万里の長城」にもたとえられた宮古市田老地区の長大な防波堤も一瞬にして大津波に飲み込まれ破壊されました。こんな予測ならない方がまして、大地震が起こったらひたすら高台へ逃げると、その訓練だけしていた方がはるかに死

亡した人は少なかったと思っています。東海・東南海・南海地震が起きた時は、ただひたすら高台へ、それが最善だと信じています。さらに、今後の復旧・復興も大きな問題があります。一つは膨大な量のガレキの処理です。国は全国で処分する計画ですが、微量の放射能汚染のため全国の自治体で引き受けるのは極めて少数で、その見通しすら立ちません。もう一つはどこに家を建てるかです。昔と違って今は少子高齢化の時代で、かつ、東北は残念ながら人口減少の著しい地域です。大津波以前の所に家を建てるのか、あるいは住居は高台に移転し、被災した土地には水産業の工場や商店のみにするのか、議論して時間だけが過ぎていくと、やっとな計画が決まった時には、住む人はいなくなってしまうということになりかねません。

福島第一原発についても、私達は学者を、国を、電力会社を信じ過ぎました。一旦原発の重大事故が起きれば、その周辺地域は何十年も、あるいは最悪何百年も人が住めなくなる危険があることはわかっていました。しかし、学者も、国も、電力会社もそんな重大事故は起こりえないと宣伝してきました。しかし、今回、世界的には世界のあちこちで起きているのと同じ規模の大地震、大津波で(そのどちらが真の原因かわかりませんが)一瞬にして冷却装置の全ての電力が喪失し、水素爆発

を起こし、原子炉本体も一部損傷し、メルトダウンまで生じました。それが現在の程度でおさまっているのは学者や、国や、電力会社の努力によるものではありません。それはただひとえに福島原発の所長以下、現場で働く人々の死を賭した必死の活動の成果であり、このことを思うと頭が下がります。一步間違えば、もっと大きなメルトダウンが起き、はるかに広範囲に、はるかに高濃度の放射能が拡散し、日本の大半が人が住めない地域になった可能性が充分にあったと思っています。地震国日本で原発を大地震のみならず大津波の脅威に

さらされる海岸近くに造ったのは安全よりも経済性を優先させたからに他なりません。今一度原点に立ち返り、この国の将来にとって国民生活ならびに産業のエネルギー源をどうするか。中長期的には化石燃料が底をつく可能性があるなかで、いったいどれだけのエネルギー量を必要とし、風力、太陽光等の代替エネルギーがどれだけ可能なのか、十分に再検討し、その結果、どうしても原発が必要となれば、その安全性をどこまで担保するのか、十分に検討しなければならないと私は思っています。

最後に、今年は平穏な一年でありますように。

特集

輸血検査の紹介

## 輸血検査の紹介



臨床検査技術科 主任技師  
齊木 泰宏

輸血とは、赤血球・血小板・血漿など血液成分が何らかの原因で不足した場合に成分を補充し症状を改善する治療法です。

輸血部では、血液製剤の管理および安全で適正な輸血医療が行なわれるよう全自動輸血検査装置を使用したいろいろな検査を担当しています。例えば、血液型（ABO式やRh式）の検査、患者さんの血液と適合した輸血用血液を準備するための交差適合試験、不規則性抗体検査などです。また、予定された手術での出血に備えて、自分の血液を採取（自己血）しておき必要時に使用できるように保管管理も行なっています。これらの輸血に関する対応を24時間体制で実施しております。

これからも血液製剤を用いた治療が安全かつ有効に実施されるよう努め、診療科を支援していきたいと思っております。



Auto Vue Innova(全自動輸血検査装置)

# 「医療福祉相談室」ってどんなところ？

医療福祉相談室

2階の外来受付4の向いに「医療福祉相談室」という場所があることをご存知でしょうか。医療福祉相談室では9名のソーシャルワーカーと1名の看護師が入院中や外来通院中の患者さんやご家族の相談に対応させていただきます。

「身体障害者手帳とはどんな制度が知りたい」「医療費制度の手続きについて聞きたい」「病気で仕事に就けない時の保障制度はあるのか」ということや「今後の療養先について相談をしたい」「介護保険や訪問看護を使うにはどうしたらよいか」「在宅介護をしていく上でのアドバイスが欲しい」「吸引器の購入や使用方法がわからない」といったことまで相談内容は様々です。ご相談内容のプライバシーは守りますので、療養上困っていることやご不安なことがありましたら、まずは一度ご相談ください。相談に費用はかかりません。

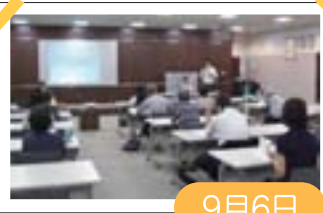
相談希望の方は直接、ご来室いただくか職員にお申し出いただければ相談日時を決めさせていただきます。

次号以降、毎号ではありませんが、社会保障制度について少しずつご紹介していきます。

## 公開医療福祉講座

### 「知って得する!医療費のしくみと制度のお話」

医療費の支払いに関して、請求書の見方、高額療養費制度、医療費に関する制度について、ソーシャルワーカーの鈴木と医療事務の澤木より説明しました。関心が高いテーマとあって、多くの方が熱心にメモを取りながら聞いていました。疑問点等の質問がありましたら医療福祉相談室までご連絡ください。



9月6日

## 苗植え

「食育」の一環として、こども医療センターに入院中の院内学級児童とともに野菜の栽培を始めました。10月3日に初めての種まき(苗植え)を行いました。その後は、こどもたちが毎日交代で水やりをしています。



10月3日

## 第40回江南市農業まつり

11/12(土)・13(日)の2日間「すいとびあ江南」で開催されました。江南厚生病院からは健康管理センター職員を中心に、「健康相談コーナー」を昨年に引き続き出展しました。

内容は、身長体重計測・視力測定・血圧測定・血管年齢測定・骨密度測定などに加え、感染管理認定看護師による感染対策相談や保健師による健康相談、管理栄養士による栄養指導を行いました。

2日間で503名の方が利用され、盛況のうちに終えることができました。ご来場いただいた方々のご協力に感謝いたします。

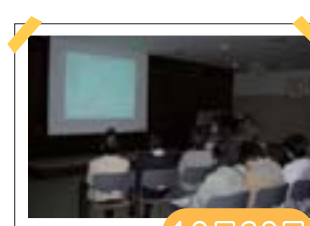


11月12日・13日

## Event イベント紹介

### ピンクリボン月間イベント 「乳がんを美しく生きる」

当院の乳がんの患者会「マミーズダイニング」と外科の共催でイベントを開催しました。各種メーカーによる商品を見たり触ったりできる展示ブースおよび患者会と外科外来スタッフによる相談コーナーを設置し、公開医療福祉講座として、乳腺内分泌外科部長の飛永先生に「乳がんは予防できる?」というテーマでお話しいただきました。多くの方々にご来場いただき、乳がん予防の知識や患者さんのニーズに応えられる



10月20日

イベントになりました。毎年こうした取り組みが継続できると良いというご意見をいただきました。

その他のイベント

10/6(木)大正琴コンサート 11/2(水)演歌コンサート

# 緩和ケアチーム紹介

看護管理室  
がん看護専門看護師  
祖父江 正代

今回は緩和ケアを行うチーム(緩和ケアチーム)についてご紹介いたします。

## 1. 緩和ケアってなに？

「緩和ケア」とは、一言で言うと「身体や心の症状(辛さ)を取り除くこと」です。「緩和ケア=終末、最期」というイメージを持たれておられる方もいらっしゃいますが、決してそうではありません。

身体のたるさや痛み、吐き気、息苦しさなど何らかの症状があると、身体の辛さだけでなく、日常生活(家事や仕事、友人とのつきあい)や心(不安)にも影響してしまいます。そのため、少しでも身体の症状を取り除くことがとても大切です。「緩和ケア」はどのような病気であっても必要なケアですが、悪性腫瘍(がん)を患った場合に起こる身体や心の症状(辛さ)は、その原因が複雑であるため、それを専門に行う「緩和ケア病棟」や「緩和ケアチーム」が存在します。

## 2. 緩和ケアチームの活動

当院の緩和ケアチームは、医師、薬剤師、がん看護専門看護師、ソーシャルワーカー、理学療法士、栄養士で構成されており、週に1回、患者さんの病室に出向いて話を聞き、主治医や病棟看護師とともに症状を和らげる方法を検討しています。がんの診断を受けたばかりの不安や抗がん剤治療に伴う吐き気や痛み、放射線治療に伴う身体のたるさや痛み、がんの進行に伴う諸症状などについて相談を受けています。がんの治療がより楽に受けられるように、また、がんの進行による症状とうまく付き合いながら今までの生活が続けられるようにお手伝いさせていただくのが私たちの役割です。

なお、患者さんだけでなく、ご家族からの相談も受け付けています。ご希望の方は主治医または看護師までお申し出ください。



## 平成23年度災害拠点病院防災訓練

平成23年11月19日(土)大地震での被災を想定し、警察、消防等関係機関と連携し、当院へ被災患者を受け入れ、医療救護活動を行う防災訓練を行いました。災害拠点病院として今回の訓練結果を検証し、災害対策の改善・体制整備に努めてまいります。



# 市民公開講座のお知らせ



2012年5月13日(日)に第20回愛知県作業療法学会を開催させて頂くことになりました。この学会内で“三河のエジソン”こと加藤源重先生をお招きし、市民公開講座を開催いたします。加藤先生はテレビや新聞記事などでも紹介されており、ご存じの方もいらっしゃるかと思います。この機会にぜひお誘い合わせの上、ご来場下さい。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 日時** 2012年5月13日(日)  
14:00~15:30
- 会場** 江南市民文化会館  
大ホール
- 参加費** 無料
- 講師** 加藤 源重
- テーマ** 障がい乗り越え発明人生  
~傷の手は宝~

## お問い合わせ

江南厚生病院リハビリテーション技術科内 第20回愛知県作業療法学会事務局  
学会長：吉田 慎一（認定作業療法士）・実行委員長：三島 友美（作業療法士）

## ●保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

## ●面会のご案内

平日	15:00~20:00
土・日曜日・祝日	13:00~20:00

※4人床の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。  
※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

## 編集後記

●明けましておめでとうございます。表紙は「難を転じる」ということで正月飾り等に用いられるナンテンです。今号はお知らせしたい内容が多く、紙面の配置に苦労しました。じっくりお目通し下さい。今年も定期発刊を予定していますので、ぜひご愛読ください。

## 2012年 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です) ● 午後休診

1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

3月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

●発行日/平成24年1月1日

●発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL(0587)51-3333 FAX(0587)51-3300